



## 《共通事項》

### ◆乾燥対策について

降雨なく乾燥が続く場合は、土壌が乾く前に定期的なかん水(1回に20~30<sup>リットル</sup>)を行う。

### ◆梅・オウトウの栽培日誌の提出について

梅・オウトウ出荷予定者は、下記期日までに各果樹技術員まで提出されますようご協力下さい。

1. 提出期限…《梅 ⇒ 5月10日(水)まで》 《オウトウ ⇒ 5月15日(月)まで》

2. 提出方法…役員さんを通じてか、直接流通センター・共選所まで提出下さい。

3. 留意事項

①栽培日誌の内容を果樹技術員がチェックし、法的に問題がある場合は販売できません。

②提出されず出荷された場合は、安全性が確認できないので返品の対象になります。また、内容が確認できるまで荷受けは行えません。期日に遅れないようお願い致します。

### ◆凍霜害対策について

4月9・10日に低温があった。園によって被害が違うので自園の確認を行う。

被害に遭った場合は、まずは被害程度の把握を行う。被害が大きい園は実止まり確定後に摘果を行う。着果位置・品質にこだわらず、着果量確保を優先させる。

## 《プルーン・すもも》

### ◆第5回薬剤散布の実施について

1. 散布時期…5月13日(土)~5月19日(金)

実際散布日記入 月 日

2. 調合量…水100ℓ 当り

展着剤……………10mℓ

サイアノックス水和剤…100g (シンクイムシ類・収穫21日前まで)

3. 散布量…10a当り ⇒ 400ℓ 以上

4. 留意事項

①サイアノックス水和剤に代えてエクシレル SE 5,000倍(水100ℓ 当り 50 mℓ・収穫前日まで)を使用しても良い。いずれも、すもも・早生種において収穫前規制に注意して使用する。

②降雨が多い場合は、トレノックスフロアブル500倍(水100ℓ 当り 200mℓ)を加用散布する。

③りんごへ農薬飛散しないよう十分注意する(生理落果)

### ◆これからの薬剤散布の注意点について

散布の際、ノズル噴口は1.0mmを主体に使い、圧を上げ細かい霧でタツプリかける。

鉄砲噴口等でジャージャーかけると、ブルームが流れ、雫がたまと薬斑になる。

## ◆あら摘果について

摘果は早いほど果実肥大はよいが、第2期の生理落果(不授精による)が開花後2～4週間後にあるため、実止まりを確認してから実施するのが基本。さらに第3期の生理落果が6月にあり(果実相互、果実と枝葉の養分競合による)、摘果が遅れるとさらなる生理落果につながるため、遅れないように実施する。着果量の多い品種(スタンレイ・ツアー等)や結実良好であった品種・樹勢の弱い樹等は予備摘果に重点を置く必要がある。くらしまプルーンは、不受精果が判断できるようになったら早期に摘果。

### 1. 時期 小指大の時(満開後30日後頃)

①すもも(貴陽) ⇒ 5月上旬頃(平坦部) プルーン(スタンレイ) ⇒ 5月上中旬頃(平坦部)

### 2. 程度

①樹勢の弱い樹……………2年枝の摘果を行い、果実肥大に努める。

②生理落果《少》品種…あら摘果に重点(仕上げ摘果の2割り増し程度残す)を置き、仕上げは軽度にする。(スタンレイ、アーリーリバー、ベイラー、ソルダム等)

③生理落果《多》品種…あら摘果は軽度(仕上げ摘果の3～4割程度多めに残す)にし、2年枝を中心に摘果する。(グランドプライズ、トレジディ、サンタローザ等)

### 2. 方法(受精した果実は緑色が強く、不受精果は黄緑色を呈する。)

①緑色で正常な果実を残す。病虫害果・奇形果・小玉果・障害果などを落とす。

②下から横向きの果実を残す。上向き果は、風による障害・日焼等で果皮が荒れやすいので落とす。

## ◆摘果の程度

### 《プルーン》

1. 小玉品種⇒5cm に2果(3cm間隔)、1短果枝に1果(少ない場合は2個鈴成り)

2. 中玉品種⇒10cm に3果(3～5cm 間隔)を目安に行う。(2～3短果枝に1果)

3. 大玉品種⇒10cm に2果(5～6cm 間隔)を守る(3～4短果枝に1果とする)

### 《スモモ》

1. 中玉品種⇒1短果枝に1果を基準とし10cm に1果を目安に行う。

2. 大玉品種⇒着果間隔で10～15cm に1果残す。

## ◆プルーン・すももの仕上げ摘果講習会開催について

下記の日程により講習会を開催します。都合のよい会場で受講して下さい。

開催日	曜	時間	集 合 場 所	担当
5月9日	火	午前 9:30	柴田孝昭様 (塩崎)	寺澤
5月12日	金	午前 9:00	渡辺 浩様園 (御厨)	佐藤
		午前10:00	駒村和久様園 (綿内東公園近く)	松沢・元田
		午前11:00	荒井袈裟男様園 (小市橋近犀川河川敷)	佐藤

※上記以外の地区については個々に対応しますので果樹技術員までお問い合わせ下さい。

# 《なし》

## ◆第5回薬剤散布の実施について

1. 散布時期・・・5月13日(土)～17日(水)

実際散布日記入 月 日

2. 調合量・・・水100ℓ 当り

- (展着剤)・・・10ml (日本梨は加用する。)
- サイアノックス水和剤・・・100g (シンクイムシ類・ハマキムシ類・カイガラムシ類・ナシゲンバイ)
- オキシラン水和剤・・・166g (黒斑病・輪紋病)

3. 散布量・・・10a当り⇒棚栽培400ℓ／立木栽培450ℓ 以上

4. 留意事項

- ①この時期、西洋ナシはサビ果の発生を助長しやすいので乳剤・展着剤は使用しない。
- ②サイアノックス水和剤に代えて㊟ダイアジノン水和剤 34 の1,000倍(水 100ℓ 当り 100g)を使用しても良い。

## ◆南水の新梢管理について

- 1. 不定芽の除芽を行う。 2. 副芽が伸びる場合は1本にする。
- 3. 誘引作業の実施。 4. 主枝先端の新梢は垂直支柱にそって誘引する。(秋までの伸びが良くなる)

## ◆南水栽培講習会の開催について

下記により講習会を実施しますのでご参集ください。

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
5月12日	金	午前 9:30	西澤 英則様園 (真 島)	外谷
		午前11:00	高橋 正治様園 (東福寺)	外谷

講師 長野農業農村支援センター畔上普及指導員

※新型コロナウイルス対応のためマスク持参でお願いします

## ◆西洋ナシの仕上げ摘果の実施について

結実の良い「ラ・フランス」等の仕上げ摘果は、満開後40～50日までに行う。

「ル・レクチェ」等は生理落果が見られるので、落果が終わり次第(満開後30日頃)摘果を始める。

表1 【西洋ナシ主要品種の着果量の目安】

品 種 名	頂 芽 数	摘果時の葉枚数	最終必要枚数
ラ・フランス	4～5頂芽に1果	50枚	60枚
オーロラ、バラード	5～6頂芽に1果	50～60枚	60～70枚

## ◆日本なしの仕上げ摘果について 　　あら摘果を急ぎ終わらせる

- 1. 実施時期・・・満開後45日までに終わらせる (5月中下旬頃)
- 2. 着 果 量・・・4～5果そうに1果、ただし、1次間伐樹は3果そうに1果とする。

# 《ウメ》

## ◆小梅の出荷目揃い会開催について

参加される方は自園の小梅を少量持参下さい。熟度(収穫時期)調査いたします。

開催日	曜	時間	集合場所	担当
5月12日	金	午前10:30	松代総合センター	松橋

※マスクを持参ください。できるだけ短時間での開催といたします。

※5月15日(月)より収穫可能なものから、荷受開始となります。

出荷が早まる方は対応しますので連絡ください。

# 《あんず》

## ◆うどんこ病について

落花期以降、高温乾燥が続くと発生しやすい。品種では、「平和」「信州大実」「新潟大実」に発生が多い。被害の多い場合は、着果量が多い園については、摘果にて被害果を落として対応する。不足している園は、被害の小さいものを残す。



### 〔特徴〕

- ・果実及び葉などに白く「うどんの粉」をかけたような症状で、他の病気は降雨等により発病・感染するが、この病害は高温干ばつ時に発生が多くなる。  
※基本的に葉への感染がほとんど無い
- ・発生初期は白いカビが生えており、感染から時間が経過するとともに褐色から茶褐色に変化する。

# 《アウトウ》

## ◆摘果について

1. 摘果の時期は、不受精果などの生理落果が終わる満開3～4週間後までに行う。
2. 1花束状短果枝当り2～3果程度残し、日当りの良い上枝では2果程度残す。

## ◆第5回薬剤散布の実施について

1. 散布時期…被覆直前 実際散布日記入 月 日
2. 調合量…水100ℓ 当り
  - ①スカウトフロアブル … 33ml (アウトウショウジョウバエ)
  - ②オンリーワンフロアブル… 50ml (灰星病)
  - ③(カネマイトフロアブル)… 100ml (ハダニ類)
3. 散布量…10a当り500ℓ 以上

### 《栽培に関する問合せ》

寺澤 (篠ノ井西部・信田) : 080-1188-5229 / 外谷 (篠ノ井東部) : 080-8048-6602

松橋 (松代) : 090-4816-6297 / 佐藤 (川中島) : 090-7179-9866

根津 (更北) 080-1203-8576 / 元田 (若穂) 282-2002

吉澤 (全域・編集担当) : 090-2543-0365 / 営農販売部 (本所) : 292-0930

### ○果樹のアドバイザー (流通センター長兼務)

松澤 (若穂) 080-1191-5166 / 伊藤 (篠ノ井東部) 080-2239-6816

松坂 (篠ノ井西部) 080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所 / 営農販売部 (本所) : 292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部 / 農業資材課 : 299-3311